



平成 30 年 5 月 31 日

胃がんに対するロボット（ダ・ヴィンチ）手術 保険診療開始

岡山大学病院消化管外科では、平成 30 年 4 月に胃がんに対してロボット（ダ・ヴィンチ※）手術が保険適用となったことを受け、6 月より胃がんに対するロボット手術を保険診療で行う予定としています。保険診療としてロボット手術を行うには一定の施設基準を満たす必要がありますが、現時点で岡山県内においてこの施設基準を満たす施設は岡山大学病院のみです。

岡山大学病院消化管外科では、藤原俊義教授、西崎正彦講師を中心に、平成 23 年から現在までに臨床研究として 18 例の胃がん患者に対してロボット手術を行ってきました。現在普及してきている腹腔鏡手術と比較しても、操作性に優れるロボット手術ではより精緻な手術を行うことが可能となり、より安全で確実な手術につながることを期待されています。

※「ダ・ヴィンチ」は、「ダ・ヴィンチ Xi」と「ダ・ヴィンチ Si」のことを指しています。

<背景>

胃がん手術において、患者への身体的負担を減らすために、腹腔鏡手術がますます普及し、早期胃がんはもとより最近では進行胃がんに対しても安全に施行できるようになってきています。しかしながら、この腹腔鏡手術にも操作性において欠点があり、その操作性を克服する手術法としてロボット（ダ・ヴィンチ）手術が開発され、近年発展してきました。ダ・ヴィンチ手術システムでは、直線的な操作に限定される腹腔鏡手術と異なり、人間の手のような多関節能を有するロボットアームを用いるため、操作性が格段に向上しています。また、高性能内視鏡による 3 次元画像やアームの手振れ防止機能も有しているため、より安全で確実な手術につながることを期待されています。

ロボット手術は、平成 24 年 4 月に前立腺がんに対して、平成 28 年 4 月に腎がんに対してそれぞれ保険適用となり、この 2 種類のがんに対しては日常臨床において行われてきていましたが、平成 30 年 4 月より胃がんなど 7 つのがんを含む 21 種類のロボット手術が一挙に適用拡大となりました。しかしながら、どの施設においてもすぐにロボット手術を開始できるわけではなく、保険診療でロボット手術を行うためには術式ごとに一定の施設基準が設けられています。

<実績>

岡山大学病院では、平成 22 年にダ・ヴィンチ手術システムを導入し、消化管外科では藤原俊義教授と西崎正彦講師を中心に、平成 23 年からこれまでに臨床研究として、18 例の胃がん患者に対してロボット手術を行ってきました。最初の 10 例は、早期胃がんに対する幽門側胃切除術（胃の出口側約 3 分の 2 を切除する術式）を行いました。この 10 例の検討では、通常の腹腔鏡手術と比べて少し手術時間は長くなりますが、出血量は減少していることが示されています。また、次の 3 例は、早期胃がんに対して噴門側胃切除術¹⁾を行い、岡山大学オリジナルの方法である「観音開き法再建」²⁾で吻合を行いました。この「観音開き法再建」では、複雑な縫合操作を必要とするた



PRESS RELEASE

め、多関節能を有するロボット手術には最適の術式と考えられます。また、最近の5例では、より難易度の高い胃全摘症例や進行胃がん症例に対しても安全に施行可能であることを確認しています。

<今後の予定>

日本におけるダ・ヴィンチ設置台数は現在300台以上ですが、そのうち岡山県内には、岡山大学病院を含む5施設に計6台（岡山大学病院には2台）設置されています。しかしながら、現在胃がんに対するロボット手術を保険診療で施行可能な基準を満たす施設は、岡山県内では岡山大学病院のみです。岡山大学病院では、6月より胃がんに対する保険診療でのロボット手術を開始し、当面は1~2例/月のペースで行う予定としています。

<補足・用語説明>

1) 噴門側胃切除

胃の入り口側3分の1から2分の1を切除する術式で、胃の入り口側に近いところに来た早期胃がんや粘膜下腫瘍などが適応となります。逆流防止機構を有する噴門を切除するため、切除後の再建法として、胃食道逆流を防止することが重要となります。

2) 観音開き法再建

噴門側胃切除術後の再建法のひとつで、胃内容物の食道逆流を防止する一方弁を作成するように、食道と残った胃をつなぎます。元岡山大学第一外科准教授の上川康明氏らにより平成10年に初めて報告された方法です。当初は岡山大学関連病院で主に行われていましたが、その逆流防止の有効性から近年全国的な広がりを見せています。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
消化器外科学分野 教授 藤原 俊義

(電話番号) 086-235-7257

(FAX番号) 086-221-8775

(URL) <http://www.ges-okayama-u.com/>



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。